

視聴覚教育

NO. 305

発行日

16.9.7

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

テレビチューナー
ビデオコンデンサー
オーディオインターフェイス
パルス幅変換回路
デジタルビデオカメラ
ビデオ編集機
ビデオ編集ソフト
ビデオ編集機
ビデオ編集ソフト
ビデオ編集機
ビデオ編集ソフト
ビデオ編集機
ビデオ編集ソフト

夏の講習会 報告

VTR実技講習会 7月31日(土)

於 教育文化館

初級コースに学校教育関係者5名、社会教育関係者6名、中級コースに学校教育関係者6名、社会教育関係者3名、計20名の参加を得て行いました。初級コースでは、デジタルビデオカメラを使っての基本的な撮影方法や簡単な作品作り、中級コースでは、持ち寄った映像をもとにノンリニア編集を中心に取り組み、作品に仕上げることができました。

校内放送講習会 8月2日(月)

於 情報ネットワークセンター

市内全小中学校の校内放送担当の児童生徒と教師、計168名の参加を得て行われました。情報ネットワークセンター内にあるサテライトスタジオより、矢作東小学校の児童と甲山中学校の生徒が、校内放送(お昼の放送)の様子を再現しました。



また、昨年に引き続き、東海ラジオスポーツアナウンサーの村上和宏さんに、アナウンスの楽しさと技術についての講演と実技指導をしていただき、臨場感あふれる講習会になりました。

パソコン関係講習会

・教科・領域基礎講習会 8月4日(水)

於 竜南中学校

42名の学校教育関係者の参加を得て、「ホームページビルダー」を利用したホームページ作成技術を学びました。

パソコン導入校学習ソフト運用講習会

・ネットワーク管理者セキュリティ講習会

7月26日(月)～8月26日(木)にかけて

計16日間、11校の小中学校で49回もの講習を実施しました。今年度からはパソコンが新規導入された中学校の先生も参加し、社会科「グリーンマップ」など専門教科ならではのソフトをはじめ、各種ソフトの講習会を行いました。また、実際に操作する活動を通して、学校にあるソフトの活用について学んだり、管理者講習会では、各学校におけるセキュリティ確保のための情報を交換したりと、有意義な講習会となりました。

・ネットワーク講演会 8月30日(月)

於 市民会館

ネットワークを利用したソフト「わいわいレコーダー」の実践発表と講演を「わいわいセミナー」三河として行い、70名が参加しました。7名の岡崎市の先生がポスターセッション方式で実践発表を行い、どのブースも多くの先生方が集まり熱気にあふれていました。その後、富山県砺波市立砺波東部小学校の白江先生が社会科や総合的な学習の実践を踏まえた講演を、金沢大学教育学部の中川一史助教が国語と情報教育を例に、学校教育の情報化の現状や教師がどのように授業をデザインするか、などについて講演をされました。多くの先生方がいるような場面で活用したいという思いを強くして講演会を終えました。

第42回東海北陸地方放送研究大会

第36回愛知県放送教育特別研究会

が開催されました。

8月18日(水)愛知県中小企業センターにおいて、「21世紀に躍動する新しい放送教育のあり方を追究しよう」を研究主題に行われました。午前は、NHK学校教育番組部チーフプロデューサーの菊江賢治氏により、「デジタル時代到来! NHKの教育番組とその活用方法」と題した講演が行われました。午後は、5つの部会に分かれ実践報告や協議が行われました。

第三部会「総合的な学習部会」では、羽根小学校の河合康宏先生が実践を発表されました。学校や学区の自然観察の活動の中にメディアリテラシーの学習場面を有効に取り入れた実践で、高い評価を受けました。

「実践報告」 イントラパケッツを使った掲示物作り

岡崎市立矢作東小学校 高橋 啓二

私は毎学期はじめに、係決めを行っているが、六年生を受け持った今年度は、係紹介の掲示物を、ネットワーク上でグループ作業を行う学習ソフト「グループパケッツ」を利用して行う。

今までは、子供たちが机を寄せて、代表者が画用紙に書くという作業が多かったが、人数の多い係は、書く順番を待っていたり、手持ち無沙汰の状態になっていたりで、効率が良いとはいえなかった。グループパケッツの利用を行うことで、一枚のバーチャルな模造紙の上で、同時に共同編集をしたり、メール機能を使って情報交換をしたり、効率的な作業を進めることができた。



出来上がった掲示物についても、キャッチフレーズや学年のはじめにデジカメで撮影した顔写真を入れたり、文字の大きさや色、イラストの挿入など、メッセージを伝えるための工夫がたくさん取り入れられていた。

子供たちが慣れたところで、教科のまとめ等授業でぜひ利用したいと考えている。

「レッツ・トライ」 わいわいレコーダーを使って

意見交流を

授業中に発表する生徒は限られている。発表してほしい生徒を意図的指名したり、朱書きで自分の考えに自信を持たせたりするが、それでも自分の意見をうまく伝えられない生徒も少なくない。それを解消する一つの手だてとして、授業の中で学級全体に考えを発表できるツール「わいわいレコーダー」がある。わいわいレコーダーは一つの文章ファイルに複数台のパソコンから書き込みできるソフトである。

中学三年理科の授業で、ある生徒が「なんでタマネギの根の先端だけが伸びているのですか？」という疑問を投げかけた。そこで、自分の考えの発表手段として、「わいわいレコーダー」を使うことにした。事前にファイル上に生徒一人一人の氏名と書き込み用の枠をつくっておいた。授業で生徒はそこに書き込み、同時に他の生徒が書き込んだ内容も見ることができた。まったく書けない生徒も他の生徒の書き込んだ内容を参考に書き込み、意見交流を図ることができた。興味をもって取り組んでくれた。子ども一人一人が自分の考えを発表し合え、考えに深まりを生むことができるソフトである。

(河合中 学習情報主任 新 育大)

ライブラリーだよ

第2回

「ふるさと岡崎メディアコンクール」のご案内

地域に密着した視聴覚教材の収集を充実するため、広く市民に自主制作活動を奨励し、日頃の成果を発表する場を提供するため、今年度も「ふるさと岡崎メディアコンクール」を開催いたします。優秀作品は、生涯学習及び学校教育の場などでの利用と活用を進めます。今年度は、新たに「児童生徒作品部門」を新設しました。多くの方々参加をお願いします。

募集期間

平成16年11月22日(月)～12月10日(金)

郵送可

応募先

〒464-8601 岡崎市菅生町1丁目3番地1

(市役所本庁南隣 岡崎市情報ネット

ワークセンター3階)

募集部門

生涯学習部門

学校教育教材部門

テーマ

岡崎市及び近郊の教育、自然、歴史、文化など

利用メディア

ビデオ、マルチメディア

詳しい募集要項や応募用紙は

岡崎市視聴覚ライブラリー

問い合わせ

TEL 0564(23)6789

FAX 0564(23)6794